



北日本漁業経済学会第40回大会（宮城県・仙台大会）を下記の通り実施致します。被災地・仙台で実施する大会ですので、皆さんのお力添えで有意義なものにしたいと思います。大会はシンポジウム、懇親会、一般報告とも全て公開（自由参加）となっております（ただし総会は除く）。会員内外を問わず、多数の皆様参加を期待しております。

北日本漁業経済学会

第40回大会・仙台大会案内号

1. 会場及び開催日程

会 場： 宮城県仙台市・東北大学農学部

日 程

10月21日（金） 理事会 18時～20時

場 所：東北大学農学部・海洋系会議室（別図⑭2階）

10月22日（土） シンポジウム 13時～17時

場 所：東北大学農学部・講義棟第1講義室（別図④1階）

懇親会；18時～20時（会費3000円）

場 所：東北大学農学部・生協食堂（別図⑧1階）

10月23日（日） 一般報告・総会 9時30分～15時

場 所：東北大学農学部・講義棟第1講義室（別図④1階）

2. シンポジウム（1日目；13時～）

東日本大震災による被災漁業・漁村の 復興構想と実現への課題

〔趣旨説明〕 二平 章（漁業情報サービスセンター）

東日本大震災は東北の漁業・漁村に未曾有の大被害をもたらした。漁業被害は漁船が約1万9000隻、被害漁港が319箇所、養殖施設はほぼ全滅に近い。4月11日に首相の私的諮問機関として設置された東日本大震災復興構想会議は6月末に「復興への提言」をまとめ、さらに、

岩手、宮城、福島の各県も独自の「復興計画」を発表した。さらに、市町レベルでも「復興会議」を設置して復興構想、復興プランを議論・作成にあたっている自治体もある。震災から6ヶ月、それらの復興プランがほぼ出揃う形となった。そこで、本シンポでは、復旧・復興をめぐる国・県・市町それぞれのレベルの計画の内容と作成過程の議論を検討し、構想・プランの問題点、実現への課題をさぐる。

1. 『提言』に見る復興構想・計画論の特徴と課題

—容認できない被災現場と漁業生産からの遊離— 廣吉勝治（北海道大学名誉教授）

2. 石巻・気仙沼・女川を中心とした水産業集積地域の復興構想協議と課題

馬場 治（東京海洋大学）

3. 岩手県における水産復興の現況と課題

濱田武士（東京海洋大学）

4. 福島県における漁業・漁村の被害状況と復興への課題

井上健・小山良太・阿部高樹（福島大学）

〔依頼討論〕

「漁業復興の在り方についての提議」（日本科学者会議 2011.6.30）について

網島不二雄（元山形大学）

総合討論・司会：片山知史（東北大学農学部）

3. 一般報告（2日目：9時30分～）

1. 漁港における雪氷熱エネルギーを活用した冷熱生成システム導入の可能性

～北海道苫前漁港での蓄養施設、荷捌き所での実証結果を踏まえて～

不動雅之（財団法人漁港漁場漁村技術研究所），後藤卓治（同左）

浅川典敬（独立行政法人水産総合水産工学研究所），広島基（株式会社データ設計）

2. 核物質汚染が水産系フードシステムに与える被害構造と対応の枠組み

山下成治（北海道大学），但馬英知（(株)但馬ラボ），熊谷一栄（(株)熊谷研究所）

3. えりも地域に見る海獣による漁業被害の現状と対応

廣吉勝治（元北海道大学）・山田正紀（北海道大学大学院農学院）

4. 資源管理を巡る漁業管理組織と試験研究機関

—北海道檜山海域のスケトウダラ延縄漁業を事例に—

西村絵美（東京海洋大学大学院）

—総会（11:30～12:40）・昼休み（12:40～13:30）—

5. 漁村女性起業に関わる要因の分析

小泉聡美（北海道大学大学院水産科学院）・山下成治（北海道大学）

6. 漁業における新規就業者の現状と課題—愛知県南知多町の事例から—

及川 昂（東京海洋大学大学院）

7. 小規模漁村地域における学校給食市場への対応とその意義・課題

—北海道天塩町の取り組みを事例として—

山本 龍太（北海道大学大学院農学院）

<事務局からのお知らせ>

①学会誌第39号発刊遅延について

既に前号のニュースレターでもお伝えしているように、学会誌39号は種々の事情により大幅に発行が遅れております。しかし、現在は既に校正を終え、大会までには発行できる見通しです。大会に参加された会員には会場で配布できると思いますが、その他の会員には大会後の発送となりますのでご了承下さい。なお、改めて発刊が遅れましたことをお詫び致します。

②理事会・編集委員会の開催について

理事会及び学会誌編集委員会を下記日程で開催します。理事・監事及び編集委員の方は出席願います。

<理事会>	日時	; 10月21日(金), 18時~20時
	会場	; 東北大学農学部・海洋系会議室(別図⑭2階)
<学会誌編集委員会>	日時	; 10月22日(土), 10時~12時
	会場	; 同上

③会場及びホテル等について

会場の位置については別図1, 2を参照して下さい。東北大学農学部は市営地下鉄・北4番町駅から徒歩5分程度です。なおホテル等の斡旋は行っておりません。各自手配して下さい。

④食事について

土曜日は生協食堂が利用できますが、日曜日は営業しておりません。また、理事会・編集委員会についても、事務局として弁当等を用意することはできませんので予めご承知おき下さい。

⑤一般報告者の皆様へ

一般報告は報告20分、質疑応答5分とします。配付資料がある方は各自50部程度ご用意下さい。各報告者の発表時刻は別途タイムテーブルをメールで送付しますが、第1報告から第4報告までが午前中(9:30~11:20)、第5報告から第7報告までが午後(13:30~15:00)となります。

北日本漁業経済学会事務局(事務局長;宮澤晴彦)
〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目
北海道大学大学院農学院 水産資源経営学分野
TEL/FAX 011-706-4139
〒041-8611 函館市港町3-1-1
北海道大学水産学部 海洋社会科学分野
TEL 0138-40-8834 FAX 0138-40-8835
E-mail miyazawa@fish.hokudai.ac.jp

<現地お問い合わせ先>

skata@m.tohoku.ac.jp

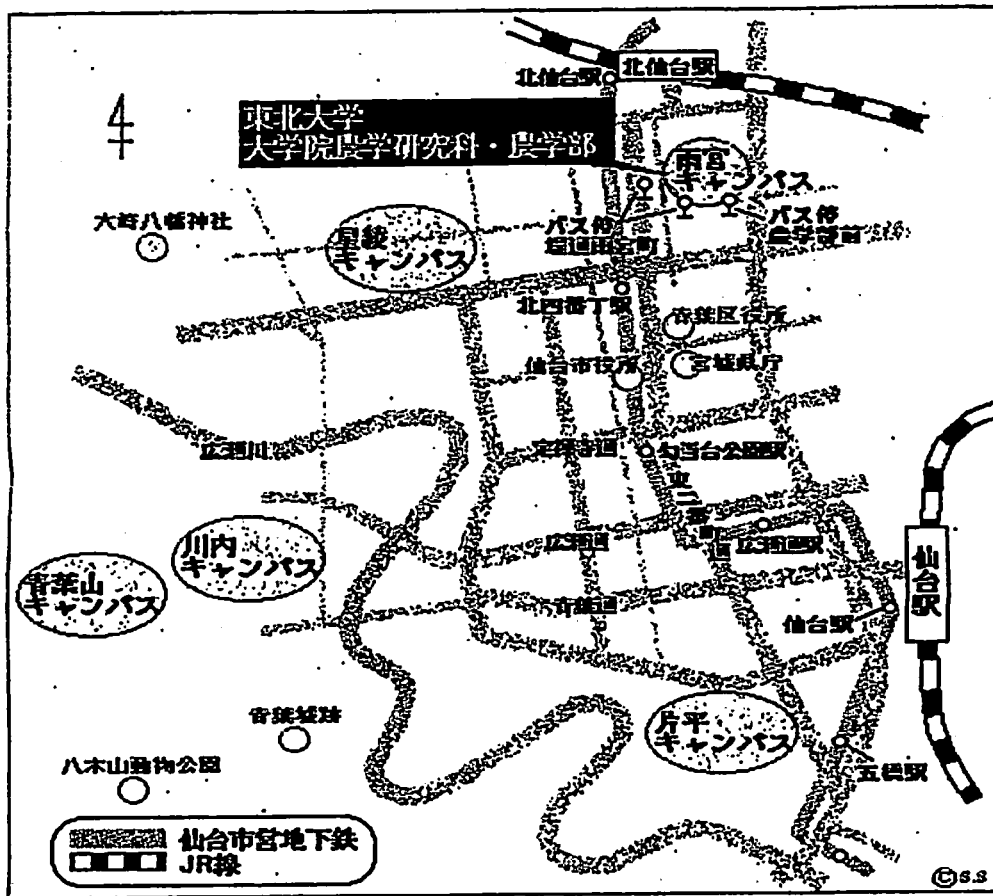
東北大学大学院農学研究科 水産資源生態学分野

片山 知史

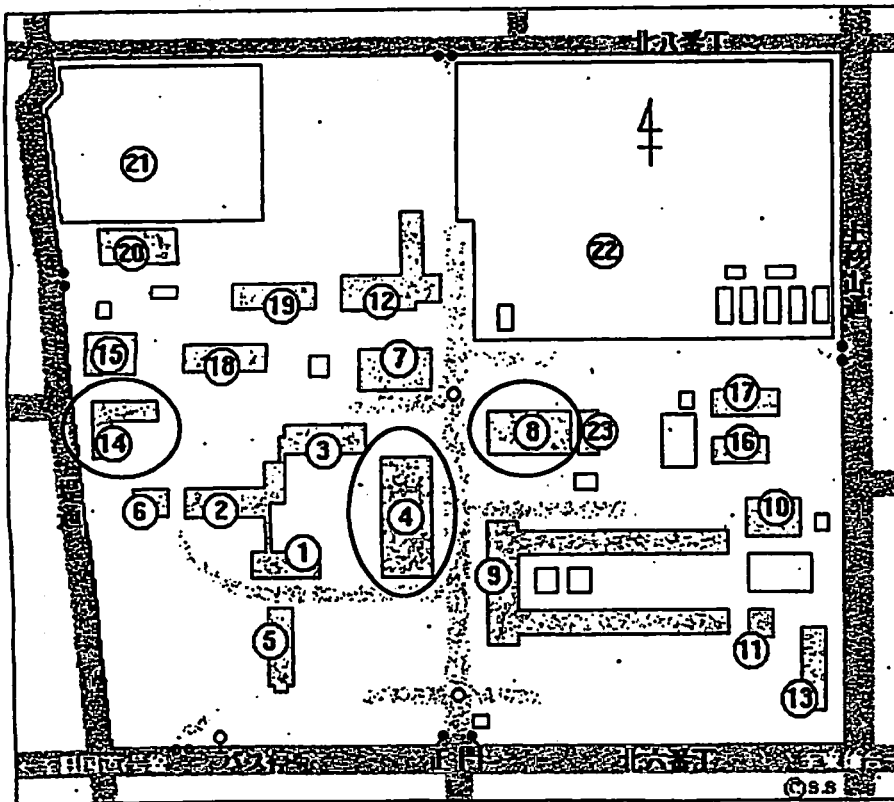
Tel:022-717-8728 Fax:022-717-8731

別図1：東北大学大学院農学研究科・農学部(雨宮キャンパス)

〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1 TEL 022-717-8603 (代表)



別図2：東北大学農学部・キャンパス内施設配置図



- 1.管理棟 2.第一研究棟
- 3.第二研究棟
- 4.講義棟(会場)
- 5.旧体育館
- 6.パワーセンター
- 7.附属図書館農学分館
- 8.厚生施設(懇親会)
- 9.本館 10.RI実験棟
- 11.植物環境応答実験施設
- 12.動物飼育棟
- 13.研究実験棟第五
- 14.水産生物飼育実験施設(理事会等)
- 15.食品加工実験棟
- 16.研究実験棟第一
- 17.研究実験棟第二
- 18.研究実験棟第三
- 19.研究実験棟第四
- 20.講堂 21.運動場
- 22.圃場
- 23.学生談話室